



修学旅行通信

第3.1号

沖縄コース

い~や~さっさ

修学旅行の行程表(2・3日目)

2	12/10 (火)	ホテル === 沖縄美ら海水族館(入場) === マリンピアザオキナワ(昼食) === 本部港 ~~~ 伊江港 8:30 10:30~12:30 12:45~13:45 14:00 15:00 15:30	【伊江島】 伊江島観光協会
		寝坊厳禁!! フェリーで伊江島まで行くよ。	
3	12/11 (水)	伊江島...伊江島にて体験活動・島内観光(体験/昼食)...伊江港 ~~~ 本部港 === ホテル(泊) 伊江島で楽しくて素敵な思い出をつくってね。 16:00 16:30 17:00 18:00	【恩納村】 リザンシーパークホテル 谷茶へい 最高のホテルだよ。

※注:行程表は変更することがあります。

修学旅行通信 3.1号は沖縄の海と、美ら海水族館についての紹介です

🌺 沖縄は全力でサンゴを守っています! ~かけがえのないサンゴ礁の海~

世界有数の透明度を誇る沖縄の美しい海には色とりどりのサンゴが生息しています。サンゴは触手などに毒針を持つ刺胞動物の一種で、クラゲやイソギンチャクと同じ仲間です。宝石として珍重されるアカサンゴや柔らかい体を持つオオウミキノコなど様々で、日本に生息する約400種のサンゴのうち380種以上が沖縄に生息しているといわれています。サンゴは触手を伸ばして海中のプランクトンを食べ、体内に共生している褐虫藻が光合成を行い生活します。そしてサンゴやサンゴにすむ水中生物を目当てに魚が集まり、さらにその魚を食べる大きな魚が集まってきます。サンゴ礁はまさに海洋生物の宝庫となっています。



しかし近年、環境問題が深刻化。その一つが開発現場や農地からの赤土流出の問題。赤土は南西諸島独特の土壌で雨によって浸食されやすく、いったん流れ出るとすぐには沈みません。海や砂浜を赤く染めて景観を損なうばかりか、赤土が堆積すると魚やサンゴが生きられなくなります。このような状況を受け、沖縄県では条例を制定し赤土の流出を抑制しようと努力しています。

沖縄県では数多くの団体が「サンゴ礁再生プロジェクト」に参加し、サンゴの生存率は上昇しています。地元の方々の努力があって美しい海が守られていることを知り、感謝しながら体験活動を行いましょう。

~ 美ら海水族館 ~

修学旅行通信 第3.1号担当 G2C 担任 笹本 浩平

🌺 沖縄周辺の海は、(1) 巨大な暖流・黒潮 (2) サンゴ礁 (3) 南西諸島の東西にある深海 の3つの要素により、生き物の生息環境を形作っています。そこには、多種多様な、世界有数の生物種が生息する神秘的な海の世界が広がっています。水族館の展示もこの構成でできています!



左 モニュメント ジンベエザメが私たちをお迎えしてくれます。
右 うみんちゅゲート 伊江島まで一望できるとてもきれいな空間です。ここから水族館に入場します。

(1) 巨大な暖流・黒潮 ★ジンベエザメの世界最長飼育記録更新中★

沖縄美ら海水族館では、1995年3月から(前身の「国営沖縄記念公園水族館」より)ジンベエザメを飼育し、世界最長飼育記録を更新しています。



☆エイ類最大「マンタ」の複数飼育、飼育実績は世界一☆



世界最大のエイの一種、ナンヨウマンタの複数飼育と繁殖に世界で初めて成功。巨大水槽と新鮮な海水を絶えず供給するシステムで実現した、マンタの美しく壮大な姿を目に焼き付けておきましょう。

(2) サンゴ礁 ★サンゴの大規模飼育で沖縄の海を再現★

沖縄の美しい海を彩る「サンゴの海」水槽では屋根をなくし、自然光をいっぱいに取り入れた300㎡の大水槽でサンゴが展示されています。ここでは、サンゴ礁に暮らす魚たちも賑やかに泳ぎまわり、サンゴの成育を妨げる海藻やイソギンチャクを駆除する役目を果たしています。



(3) 南西諸島の東西にある深海 ★ヤバい見た目とサイズの謎の生物達★



6m超のダイオウイカ↑や、きもかわいさが売りのダイオウグソクムシ→

